



あいさつ

北海道知事 高橋 はるみ

北海道ふるさと会連合会会報の発行にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

皆様には、日頃から、道政の推進にあたり、格別なるご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、ふるさと北海道の発展のために様々なご尽力をいただいていることに深く敬意を表します。

さて、本年九月、北海道東京事務所が「永田町ほかいどうスクエア」としてリニューアルいたしました。

新たなビルでは、北海道ふるさと会連合会様のほかにも、小樽市や室蘭市、各団体の事務所、さらには民間のオフィスなどが入居するとともに、道産食材を使った料理が楽しめるレストラン「恵みの大地 北海道」もオープンしており、このビルを東京での新たな情報発信拠点にしていきたいと思っております。

道では、本年八月から「あなたの心にそとふれさせてください」との思いが込められているアイヌの人たちの挨拶「イランカラプテ」を、北海道のおもてなしの合言葉として広めようとするイランカラプテキャンペーンに様々な団体・企業の皆様と一緒に取り組んでいます。

こうした中、九月には、管内閣官房長官を座長とする国のアイヌ政策推進会議が本道で初めて開催され、白老町で計画されている「民族共生の象徴となる空間」の二〇二〇年までの整備が表明されるなど、アイヌ文化の振興が大きく動き出しました。

また、国際交流の面では、七月に洞爺湖

町において第八回日中韓賢人会議が開催され、相互理解が深まる契機となりました。本年二月には、タイ王国チェンマイ県と友好関係協定書を調印し、発展著しいASEANとの関係を広げるとともに、ロシア・サハリン州とは提携十五周年を記念した新たな「友好・経済交流促進プラン」を九月に締結して企業との交流を促進するなど、引き続き交流強化に努めて行くこととしています。

さらに、北海道新幹線については、平成二十七年年度の開業の日に向けて駅舎などの工事が進められており、地元自治体を中心に開業に向けた気運が高まっています。

道としても、こうした好機を、北海道全体の活性化につなげるよう、本道の強みである北海道価値を活かした政策の推進に取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご支援をよろしくお願い致します。

北海道ふるさと会連合会様が、毎年十月に代々木公園で開催される「北海道産直フェア」では、私もお伺いして、皆様のふるさとご自慢の特産品や、北海道の食の魅力を道外の多くの方々へ伝えていただいている様子を拝見することができました。皆様からこうした熱いご支援をいただいていることに北海道知事として心から感謝申し上げますとともに、今後ともふるさと北海道の魅力や価値を力強く応援していただき、各地域の活性化をご支援いただければ幸いです。

おわりに、北海道ふるさと会連合会の益々のご発展と、皆様のご活躍をお祈り申し上げます。私からのメッセージといたします。

第36回 総会・懇親会の開催 森隆信新会長が誕生

総務部会 阿部 正夫



新会長あいさつ

北海道ふるさと会連合会の第36回定時総会を4月20日（土）東京一ツ橋の日本教育会館「喜山倶楽部」で開催。会員、企業協賛協力団体あわせて100人が集った。

伊野達哉会長は、連合会の一連の活動について触れた後、「任期満了を迎え2期4年の会長職を辞することになった」と万感の思いを述べた。

総会議長には昨年同様東京美深会鈴木武昌さんが選ばれ、平成24年度事業・収支決算報告、池田俊一、田中井清司監事から適正の監査報告があり承認。引き続き平成25年度事業計画（案）・収支予算（案）も承認された。

役員の改選にあたり、杉村豊選考委員長から、数回検討委員会を行った経過報告があり、再任理事25人、新任理事8人の理事候補者が採決された。新会長に森隆信さん（東京遠別会）が就任。副会長は5人、総務部会長に金谷忠勝さん（東京北斗会）、事業部会長に高橋守さん（東京新冠会）、産直部会長に新家鶴男さん（東京・別海ふるさと会）、広報部会長に高橋照美さん（東京旭川会）、事務局局長に堀口正顕さん（東京妹背牛会）が就いた。

一括質疑に入り、昨年も出た問題で「事務局からの案内を早くメール化してほしい」と要望があったことに、堀口事務局局長より速やかに実施する旨の報告があった。閉会の挨拶は渡辺拓副会長から「無事総会が終わって」と謝辞がありました。

引き続き開かれた懇親会では、最初に新旧会長の挨拶があり伊野さんから森新会長の人柄に触れ「新会長とともにふるさと会を盛り上げていただきたい」とエールを贈った。森会長は「皆さんの力でいろいろな活動を通じて北海道を応援したい」と、また「5人の副会長（部会長）、理事の皆さんと一致団結をして仲良く楽しい会にしていきたい」と抱負を述べた。壇上で伊野さんと森さんの固い握手が結ばれ会場から割れんばかりの拍手が送られました。

来賓として新任の浦本元北海道東京事務所所長、佐藤哲夫副所長の紹介の後、浦本所長は新庁舎が完成すること「道産食材を使用したメニューを導入し、北海道の市町村と連携・協力した公認居酒屋・飲食店を現在7店舗営業している」と呼び掛けがあった。

近江秀彦北洋銀行常務執行役員・東京支店長の乾杯の発声により宴会にはいった。

北海道留寿都村を売り込みたいと朝一番の飛行機で駆けつけた場合谷常八村長も紹介され、「横浜とパートナーシップを結び留寿都村の情報発信をしていきたい」、また「北海道最大級のスケールを誇るリゾート」なので是非足を運んでいただきたいと力説した。北の果てのふるさと会、世界遺産の知床「東京ふるさと斜里会」、南の北海道道南会の会長が壇上に立ち「ふるさと自慢」を語っていた。

新任7人の理事も登壇し決意を披露。

企業会員の八木澤和夫AIRDO副支店長、手島孝雄サッポロビール専任部長からも日頃のご愛顧に対してお礼と感謝の挨拶がありました。爆発的な盛り上がりなのなか森会長の最後の挨拶と三本締めで懇親会が終了しました。